

衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 平成23年8月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 平成23年9月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、平成23年8月のアクセス件数、アクセス順位及び平成23年9月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については総務局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (平成23年8月)

平成23年8月の総アクセス数は、188,821件でした。主な内訳は、感染症59.1%、食品衛生12.9%、保健情報10.9%、検査情報月報6.8%、生活環境衛生2.4%、薬事1.2%でした。

(2) アクセス順位 (平成23年8月)

8月のアクセス順位(表1)は、第1位が「手足口病について」、第2位が「マイコプラズマ肺炎について」、第3位が「衛生研究所トップページ」でした。

第1位は、「手足口病について」でした。手足口病(hand,foot,and mouth disease:HFMD)は、口腔粘膜及び手や足等に現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患です。

国立感染症情報センターの報告によりますと、今年の手足口病の定点当たりの報告数は、第28週(7月11日～7月17日)に11.0となり、1982年に感染症発生動向調査が開始されて以来最多の報告数となり、その後は第29週(7月18日～7月24日)以降減少が続いていますが、過去5年間の同時期と比較して、まだかなり多い報告となっています。

第2位は、「マイコプラズマ肺炎について」でした。

マイコプラズマ肺炎は、年間を通じて常にアクセス件数が多く、毎月上位にランクインしています。国立感染症情報センターの報告によりますと、マイコプラズマの定点当たり報告数は、第31週(8月1日～8月7日)は0.62、第32週(8月8日～8月14日)は0.70、第33週(8月15日～8月21日)は0.74と2週連続増加傾向でしたが、第34週(8月22日～8月28日)には0.65と一旦減少しました。しかし、過去5年間の同時期と比較すると、かなり多い報告が続いています。

第3位は、衛生研究所トップページでした。

表1 平成23年8月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	手足口病について	16,094
2	マイコプラズマ肺炎について	4,590
3	衛生研究所トップページ	4,070
4	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	2,732
5	サイトメガロウイルス感染症について	2,412
6	熱中症(熱射病、日射病)を予防しましょう	2,352
7	クロストリジウム・ディフィシル感染症	2,167
8	ポリオ(小児麻痺・急性灰白髄炎)について	1,933
9	感染症情報センター	1,840
10	サルモネラ感染症(食中毒)について	1,667

データ提供:総務局IT活用推進課

(3) 電子メールによる問い合わせ（平成23年9月）

平成23年9月の問い合わせは、5件でした(表2)。

表2 平成23年9月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
サルモネラ感染症(食中毒)資料の転載許諾	1	感染症・疫学情報課
猫の置き餌について	1	動物愛護センター
食中毒の混合感染や複合感染の頻度	1	検査研究課細菌担当
狂犬病について	1	感染症・疫学情報課
妊娠初期のサルモネラ検出について	1	感染症・疫学情報課

2 追加・更新記事（平成23年9月）

平成23年9月に追加・更新した主な記事は、6件でした(表3)。

表3 平成23年9月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
9月 2日	狂犬病について	更新
9月 5日	インフルエンザ入院サーベイランスがスタートします	追加
9月 6日	感染症に気をつけよう(9月号)	追加
9月15日	髄膜炎菌性髄膜炎について	更新
9月16日	熱中症情報	更新
9月16日	ヒトパピローマウイルス(HPV)と子宮頸癌等について	更新

【 感染症・疫学情報課 】